

## 第4章

## 実行プラン

## 方向性・テーマ

## ① 柳川らしさの浸透 → 心豊かに暮らせる文化的なまちづくり

## 基本施策 Ⅰ-① 文化芸術や文化資源のまちづくりへの活用

## 実行プラン Ⅰ-① 新たな文化芸術資源の発見・活用

## 現状と課題

文化芸術を通じたまちづくりについて、市民アンケートの結果からは、多くの市民が、歴史的な建物や掘割など柳川独自のものを活用した文化芸術活動の充実に期待しているようです。

一方、柳川らしさのある風景や地域のアイデンティティを感じる場が少なくなり、空き家の増加等によって柳川らしい風景が変わっているという状況もあります。

このことから、市民一人ひとりが柳川の歴史や自然、文化に誇りと愛着を持つまちづくりにつなげるため、新たな文化芸術資源を発見し、それをさらに活用することが求められています。

## 実行プランの目的

地域の特性を活かしたイベントの支援や、暮らしに身近な文化芸術に触れる機会を増やすとともに、文化芸術資源の新たな活用により、持続可能な文化芸術や文化資源の継承を図ります。

## 取り組み例 ▶ …新しい取り組み ▶ …既に実施している取り組み

- ▶ 空き家や遊休地等を活用した文化芸術活動
- ▶ 文化資源を活用した展覧会、コンサート等
- ▶ まちづくりに関する地域住民とのディスカッション
- ▶ 市民団体や他自治体との連携等による「旧綿貫家住宅」の活用



旧綿貫家住宅(柳川市文化交流移住体験施設)での市民団体による企画展



旧戸島家住宅(県指定文化財)でのさげもん展示

## 方向性・テーマ

## ① 柳川らしさの浸透 → 心豊かに暮らせる文化的なまちづくり

## 基本施策 Ⅰ-② まちなかで文化芸術に触れる 機会の充実

## 実行プラン Ⅰ-② まちのあらゆるところで文化芸術に触れる機会の創出

## 現状と課題

文化芸術を通じたまちづくりについて、市民アンケートの結果からは、まちなかで文化芸術に触れる機会を求める声が多いという傾向があります。また、川下りや掘割、豊かな自然環境は、観光資源としてだけでなく、市民の身近な生活文化や景観としても大切にしていきたいとの声が多く挙がっています。

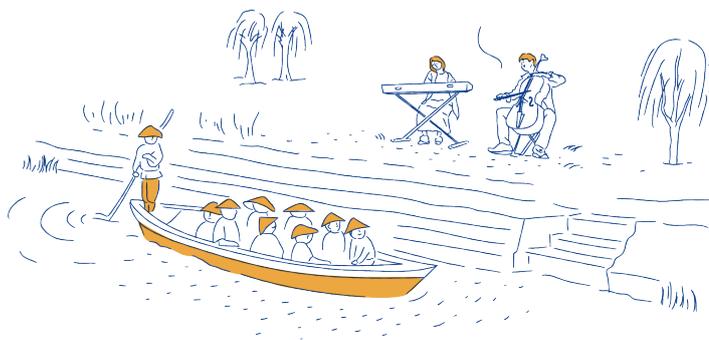
こうしたことから、まちの中で文化芸術に触れる機会を創出する取り組みや、まちの文化拠点間の回遊性をさらに高める取り組みが求められています。

## 実行プランの目的

文化施設だけでなく、柳川市内のまちのあらゆるところで、文化芸術に触れるための機会をつくり、柳川らしさを活かしたまちづくりにつなげます。

## 取り組み例

- ▶ 商店街や公園などのまちなかで実施される文化芸術活動への支援
- ▶ 公園・駅前広場等で実施される文化芸術活動の利用料や予約方法などのさらなる利便化
- ▶ 川下りなどの観光資源、自然環境資源を市民が文化芸術活動の拠点や回遊の手段として活用することができる活動



## 方向性・テーマ

## ② 機会づくり → 文化芸術による社会包摂に向けた場づくり

## 基本施策 2-① 誰もが文化芸術を鑑賞・創造・発表できる機会の創出

## 実行プラン 2-①-a 障がいのある人の文化芸術の鑑賞・創造・発表の場の充実

## 現状と課題

県の文化行政の実施にあたっては、障がいのある人の文化芸術への鑑賞・創造・発表に関する推進が行われています。また本市においても、市民アンケートでは、障がい者(児)福祉施設に向けたアウトリーチ(※)を期待する声が挙がっています。

このことから、障がいのある人が参加しやすい環境の整備として、施設のバリアフリー、情報のアクセシビリティ(接しやすさ)の充実が必要であると考えられます。

## 実行プランの目的

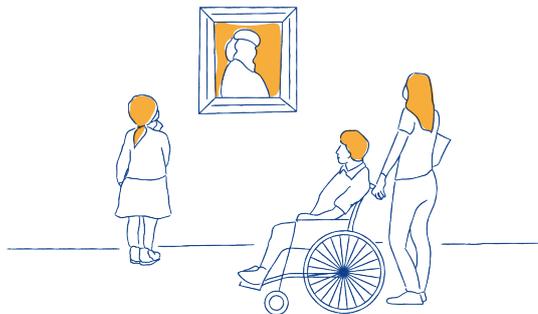
誰もが文化芸術に触れることができる環境づくりを行うため、文化芸術活動を鑑賞・創造・発表するうえで制約が生まれがちである障がい者(児)等がさらに体験、鑑賞ができる環境づくりを行います。

## 取り組み例

- ▶ 障がい者(児)福祉施設を対象としたアウトリーチ事業
- ▶ 障がいのある人を対象とした鑑賞サポートの取り組み
- ▶ 障がい当事者団体などと協働した映画上映会
- ▶ 障がい者(児)福祉施設の利用者を対象とした造形教室
- ▶ 障がいの有無に関わらない芸術作品の展覧会



聴覚に障がいがあっても鑑賞できる映画上映会



※アウトリーチ=「手を差し伸べる」という意味から、芸術の分野では劇場や美術館などが館外で行う芸術活動のことを指します。自ら文化芸術に触れる機会の少ない市民に対して、出張コンサートやイベントなどを行うことです。

## 方向性・テーマ

## ② 機会づくり → 文化芸術による社会包摂に向けた場づくり

## 基本施策 2-① 誰もが文化芸術を鑑賞・創造・発表できる機会の創出

## 実行プラン 2-①-b 高齢者の文化芸術の鑑賞・創造・発表の場の充実

## 現状と課題

市民アンケートでは、高齢者福祉施設に向けたアウトリーチを期待する声や、高齢者が楽しむことができるイベントへの期待が挙がっていました。

このことから、文化芸術活動を行いたくても行うことが難しい高齢者に向けた、芸術の体験・鑑賞ができるための場づくりが求められます。

## 実行プランの目的

誰もが文化芸術に触れることができる環境づくりを行うため、文化芸術活動を鑑賞・創造・発表するうえで制約が生まれがちである高齢者等がさらに体験、鑑賞ができる環境づくりを行います。

## 取り組み例

## ▶ 高齢者福祉施設などを対象としたアウトリーチ事業

- ▶ 認知症カフェにおける文化芸術活動
- ▶ 介護予防の取り組みとして、地域の拠点において文化芸術活動の実施



認知症カフェでのリースづくり



## 方向性・テーマ

## ② 機会づくり → 文化芸術による社会包摂に向けた場づくり

## 基本施策 2-① 誰もが文化芸術を鑑賞・創造・発表できる機会の創出

## 実行プラン 2-①-c 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり

## 現状と課題

文化芸術を通じた社会包摂の取り組みは、国や県としても推進されています。本市においても、インタビューや市民参加型ワークショップを通じて、福祉や芸術関連の団体とのコラボレーションや、文化施設において多様な人々が参加しやすい取り組みが期待されていることがわかりました。

このことから、文化施設での取り組みをさらに社会包摂的にしていくための工夫が求められるとともに、誰もが文化芸術に触れることができるための仕組みが求められています。

## 実行プランの目的

文化施設を拠点として、さまざまな属性の方たちを対象にした企画を行うほか、誰もが文化芸術を体験・鑑賞できる環境づくりには何が求められるのかを検討し、施策の実施につなげます。

## 取り組み例

- ▶ 文化芸術に対するアクセシビリティ(接しやすさ)に関する調査
- ▶ 全ての人に情報が行き届き、アクセスできるための方法の検討
- ▶ 柳川市民文化会館におけるロビーコンサート、ストリートピアノなどの実施



柳川市民文化会館駐車場で自由にチョークアート



柳川市民文化会館のロビーにあるストリートピアノ

## 方向性・テーマ

## ② 機会づくり → 文化芸術による社会包摂に向けた場づくり

## 基本施策 2-② 子どもや子育て中の方の文化芸術の鑑賞・創造・発表の場の充実

## 実行プラン 2-② 子どもや子育て中の方の文化芸術の鑑賞・創造・発表の場の充実

## 現状と課題

本市の文化行政で特に力を入れるべき内容をアンケートで尋ねたところ、子どもが文化芸術に親しむ機会を充実させてほしいという声をもっとも多くありました。また、その効果として、文化芸術の関心の増大や、創造性や工夫する力が育まれることを期待しているようです。

このことから、子どもや子育て中の方が文化芸術活動にさらに参加しやすくなる環境の整備が求められています。

## 実行プランの目的

柳川の次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造性を育むため、幼少期の頃から文化芸術に触れることで、文化芸術に関心を持つきっかけをつくります。

## 取り組み例

## ▶ 幼稚園・保育園、小中学校を対象としたアウトリーチ事業

## ▶ 子育て支援施設を拠点としたアウトリーチ事業

- ▶ 子どもと親のための文化芸術活動
- ▶ 小学生を対象とした演劇等鑑賞会
- ▶ 小中学校の音楽発表会
- ▶ 児童合唱団
- ▶ 中学校文化連盟による絵画、書道などの展示
- ▶ 白秋祭献詩(献詩の募集、白秋祭式典での表彰朗読)
- ▶ 幼稚園児・保育園児を対象とした演劇鑑賞会



小学生を対象とした演劇等鑑賞会



幼稚園児・保育園児を対象とした演劇鑑賞会

## 方向性・テーマ

## ③ 人づくり → 文化芸術活動がさらに活発になる人づくりと環境づくり

## 基本施策 3-① 文化芸術活動の担い手の ネットワークと情報基盤整備

## 実行プラン 3-①-a 文化芸術活動を行う個人や団体のネットワークの構築

現状と課題

本市においては、文化芸術のさまざまなジャンルに関する活動が活発に行われている現状があります。その一方で、こうした活動が個人やひとつの団体に留まり、十分にネットワークが構築されていないことが課題として挙がっています。

このことから、文化芸術活動がさらに活発になるために、活動の担い手である人たち同士のネットワークがさらに活発になるための工夫が求められています。

実行プランの目的

文化芸術のジャンルを超えた連携や融合を図ることで、それぞれが持つ特性を活かした新たな文化芸術活動が創造されることを目指します。

取り組み例

- ▶ 白秋祭などの大規模イベントを契機としたネットワークのための場づくり
- ▶ 文化芸術活動の担い手同士をつなぐワークショップ



市民を交えた文化芸術ワークショップ



## 方向性・テーマ

## ③ 人づくり → 文化芸術活動がさらに活発になる人づくりと環境づくり

## 基本施策 3-① 文化芸術活動の担い手の ネットワークと情報基盤整備

## 実行プラン 3-①-b 文化芸術活動を行う個人や団体の活動の場の創出

## 現状と課題

柳川ですでに文化芸術活動を行っている人たちに対する支援について、市民へのインタビューやワークショップを通じて、活動の場への支援の重要性が語られました。その一方で、文化協会等の既存の団体においては、メンバーの固定化が課題であることが示されています。また、発表の機会の充実を望む声が多いという現状もあります。

## 実行プランの目的

市内で文化芸術活動を行う個人・団体に対し、活動場所の提供や助成制度など、多面的な支援を行い、さらなる活性化を図ります。

## 取り組み例

- ▶ 文化施設以外の地域拠点や店舗等での活動を促進する仕組みづくり
- ▶ 地域の中で文化芸術の拠点として活用できる場所の集約
- ▶ 柳川市文化協会への活動支援
- ▶ 地域の公民館を拠点としたレクリエーション、自主サークル発表会などの充実



柳川市文化協会文化祭でのフラダンス



中央公民館での親子カプラ教室

## 方向性・テーマ

## ③ 人づくり → 文化芸術活動がさらに活発になる人づくりと環境づくり

## 基本施策 3-① 文化芸術活動の担い手の ネットワークと情報基盤整備

## 実行プラン 3-①-c 文化芸術の担い手とのマッチング支援

現状と課題

本市においては、文化芸術団体の多くが高齢者、子ども、病気の方、障がい者等に対する何らかのアウトリーチ活動に関心を持っている現状がありますが、受け入れ側とのコーディネートやマッチングが行えていないという実情があります。

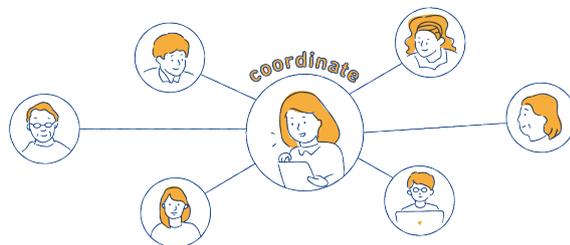
このことから、どのような文化団体やサークルがあるのかという情報にアクセスしやすくなるような、担い手と受け手をつなぐ機能が求められます。

実行プランの目的

文化芸術活動の担い手と受け手をつなぐためのマッチング機能をさらに充実させることによって、本市を拠点に活動する芸術家を中心とした文化芸術活動の活性化を図ります。

取り組み例

- ▶ 文化芸術に特化した人材バンクの作成と活用
- ▶ 活動を始めたい人に対する相談窓口、目安箱の設置
- ▶ 柳川市民文化会館におけるコーディネート機能の充実



## 方向性・テーマ

## ③ 人づくり → 文化芸術活動がさらに活発になる人づくりと環境づくり

## 基本施策 3-② 文化芸術活動を 支える人材の育成

## 実行プラン 3-② 文化芸術活動の企画・運営者(団体含む)への支援

## 現状と課題

今後の文化振興についての市民へのインタビューやワークショップを通じて、まちと芸術を仲介して企画を運営する人材が不足しており、その重要性が語られていました。

このことから、新しく文化芸術の分野に携わる若者など、まちと芸術を仲介して企画を運営する人材の育成や活躍の場の創出が求められています。

## 実行プランの目的

文化芸術活動をさらに活性化させるために、人材育成のための研修などを実施することを通じて、文化芸術活動を支える人材を育成します。

## 取り組み例

- ▶ 柳川市民文化会館やその他の拠点における文化芸術に関する市民提案企画への支援
- ▶ アートマネジメント(※)人材育成講座
- ▶ 市民サポーター制度の充実



柳川市民文化会館の運営に携わる市民サポーター



※アートマネジメント＝文化の作り手と受け手をつなぐ役割のことを指します。公演や作品等の企画・制作、資金の獲得など、芸術を発展させるために不可欠な存在です。

## 方向性・テーマ

## ④ 地域ブランディング → 柳川らしさを活用したまちの魅力づくり

## 基本施策

## 4-① 文化芸術や文化資源を活用した観光・産業の魅力づくり

## 実行プラン

## 4-① 文化芸術や文化資源を活用した観光・産業の魅力づくり

## 現状と課題

文化芸術を振興していくことの社会的効果について、市民アンケートによれば、地域社会や経済の活性化を望む声が多いようです。本市では毎年、詩聖北原白秋をはじめ多くの文人や偉人の顕彰活動や、地域の祭りなど文化資源を活かした様々な催し物が開催されています。

今後はさらに柳川らしさを活用したまちの魅力の創出と、名勝「水郷柳河」(※)など柳川市内に点在する文化資源をさらに対外的な観光やプロモーションに活かした取り組みが求められています。※名勝『水郷柳河(すいきょうやながわ)』(平成27年3月10日国指定名勝)

## 実行プランの目的

文化芸術や文化資源を観光や産業に活用し、より幅広い発信を行っていくことによって、文化芸術活動の活性化や、より発展的な文化資源の活用を目指します。

## 取り組み例

## ▶ 地元の学校や企業、芸術家等と協働した新たな観光やブランド振興などのあり方の検討

- ▶ 北原白秋など文人の顕彰活動(白秋祭水上パレードなど)
- ▶ 立花宗茂など偉人の顕彰活動(「やながわ人物伝」の作成など)
- ▶ 掘割を活用した持続可能な観光のあり方の検討
- ▶ 伝統工芸品(さげもん、柳川まり、花ござ等)の活用
- ▶ 郷土料理であるうなぎのせいろ蒸しなどの食文化の普及
- ▶ 風流、どろつくどん、中島祇園などの地域の伝統文化の継承及び活動支援



どろつくどん



さげもん

うなぎのせいろ蒸し  
(文化庁「100年フード」認定)

## 方向性・テーマ

## ⑤ 基盤づくり → 文化施設や柳川の資源を活かした土壌づくり

## 基本施策 5-① 文化施設・資源へのアクセスの向上

## 実行プラン 5-① まちなかの文化資源や文化芸術に関するアクセスの充実

## 現状と課題

市民が認知している文化施設について市民アンケートで尋ねたところ、柳川市民文化会館水都やながわや、北原白秋生家・柳川市立歴史民俗資料館などの認知度は高い一方で、それ以外の主要拠点の認知度は高くないという現状がありました。

このことから、市の広報や各施設の情報誌等での情報発信をさらに強化していくことが求められています。

## 実行プランの目的

本市で実施されている文化芸術の情報を集約し、市民にわかりやすく発信するための仕組みを整備することで、文化芸術情報の発信力の向上を図ります。

## 取り組み例

- ▶ 文化拠点マップなど市内全域の文化芸術活動を発信するための仕組みづくり
- ▶ 柳川市民文化会館の広報誌やSNSの充実
- ▶ 白秋の歌碑マップ



北原白秋生家



柳川市民文化会館の季刊誌

## 方向性・テーマ

## ⑤ 基盤づくり → 文化施設や柳川の資源を活かした土壌づくり

## 基本施策 5-② 文化施設・資源の適切な維持・保存・活用

## 実行プラン 5-② 文化施設・資源の適切な維持・保存・活用

## 現状と課題

鑑賞経験について尋ねた市民アンケートでは、国の平均と比べて鑑賞経験が高いという現状があります。また、市民に対するインタビューやワークショップを通じて、柳川市民文化会館での大型の鑑賞事業が充実しているという意見がある一方で、施設が従来型の活用にとどまっており、類似する施設との横連携や、施設間の情報共有が十分ではないという声がありました。

## 実行プランの目的

文化施設で実施する鑑賞事業を充実させるとともに、文化施設・資源をさらに適切に保存・活用・連携することにより、それぞれの魅力を向上させ更なる機能充実を図ります。

## 取り組み例

## ▶ 芸術ワークショップの実施

- ▶ 市内他拠点のイベント情報の相互発信
- ▶ 柳川市民文化会館における大型鑑賞事業



柳川市民文化会館のイベント情報コーナー



白秋ホール(柳川市民文化会館内)

## 方向性・テーマ

## ⑤ 基盤づくり → 文化施設や柳川の資源を活かした土壌づくり

## 基本施策 5-③ 文化芸術に関わる団体・組織の垣根を超えた交流の促進

## 実行プラン 5-③ 文化芸術の推進体制の構築

現状と課題

文化芸術の推進に関して市民へのワークショップを通じては、文化芸術の取り組みに関心を持つ行政職員が多いという意見がある一方で、イベントの実施等を行う際に行政の横のつながりが無いことに悩まされることがあるという声があがりました。

このことから、文化芸術を支援する立場としての行政の縦割り組織という側面を超えていくような、新たな推進体制の構築が求められています。

実行プランの目的

医療や福祉、教育、まちづくり、国際交流などのさまざまな分野において諸機関や行政機関の文化芸術の推進体制を構築することで、文化芸術を他分野へ活用するための土壌づくりを行います。

取り組み例

## ▶ 行政内部の領域横断的な組織体制づくり



基本計画策定のための庁内連携会議